

中国展開の一步に

沖縄和僑会が発足式典

沖縄和僑会の発足記念式典が20日、宜野湾市のラクナガーデンホテルであり、古田茂美香港貿易發展局日本首席代表が「華人ネットワークとは何か」と題し、記念講演した。県内の製造業者やIT企業関係者など約60人が出席した。古田氏は「現在の経済危機が終われば、米国が果たしてきた世界経済を安定させる役割を中国が担うことになる」と

との見通しを示し、中国企業の行動を理解するには「国情や儒教、兵法、華人ネットワークを知る必要がある」と説明。和僑会の活動を軌道に乗せるために、「日本人同士が組織を越えてつながる縁をつくれるかどうかが重要になる」と期待を寄せた。式典には、北谷町で開かれている沖縄国際映画祭出席で来沖中の香港の映画関係者ら



も出席。記念パーティーでは、経済産業省商務情報政策

局の前田泰宏情報経済課長が祝辞を述べた。

同会幹事の栗田智明インデックス沖縄社長は「沖縄は中国をビジネスの相手として考えていく必要がある。中国に拠点を持つ日本企業でつくれた和僑会活動で、ネットワークを活用したビジネス展開を進めたい」と展望を語った。

中国ビジネスのネットワークづくりを目的に結成された沖縄和僑会の発足記念パーティーは20日、宜野湾市・ラクナガーデンホテル